

こがねい まちづくり カフェ

実施報告書

平成27年7月
小金井市

目次

1. こがねいまちづくりカフェについて
 - (1) 目的
 - (2) 開催概要
 - (3) 参加状況
2. 実施方法(ワールドカフェ方式)
3. こがねいまちづくりカフェの流れ
4. こがねいまちづくりカフェの様子
5. 参加者の主な意見
6. 参加者の感想
7. アンケート結果

こがねいまちづくりカフェについて

後期
基本計画

* 目的

第4次小金井市基本構想・後期基本計画
の策定にあたり、市民の意見を伺う



こがねいまちづくりカフェについて

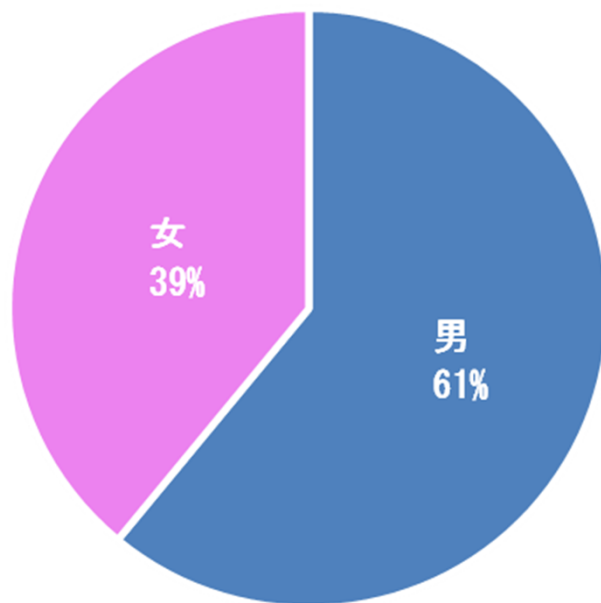
* 開催概要

開催日	平成27年7月4日(土)
開催時間	午後1時から午後4時
開催場所	貫井北センター(きたまちセンター)
参加者	54名
対象者の選定基準と応募方法	市内在住・在勤・在学 自由申し込み制及び無作為抽出(16歳以上の市内在住1千人に案内を送付)
内容	ワールドカフェ方式で、未来の小金井市について、自由に対話を行う。グループ対話から生まれた意見やアイデアを模造紙に書き込み、全体で共有をする。

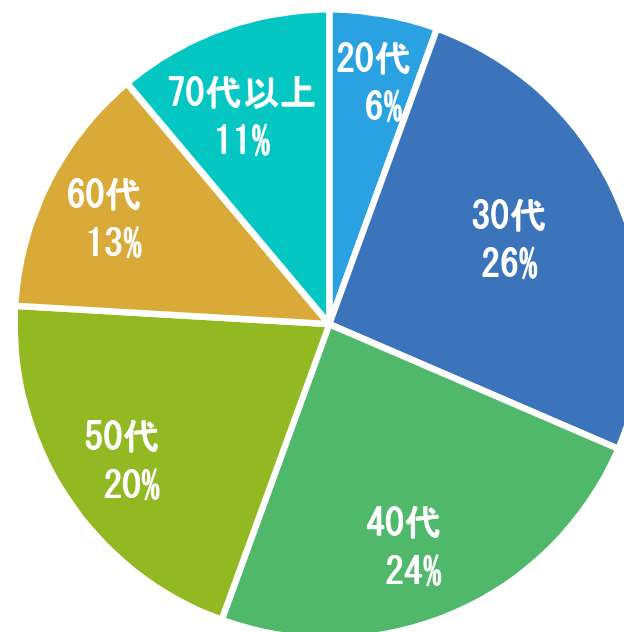
こがねいまちづくりカフェについて

* 参加者状況

男女比



年代別



全体=54名

実施方法(ワールドカフェ方式)

ワールドカフェとは、“カフェ”にいるようなリラックスした雰囲気の中、参加者が少人数に分かれたテーブルで自由に対話を行い、話し合いを発展させていく手法です。

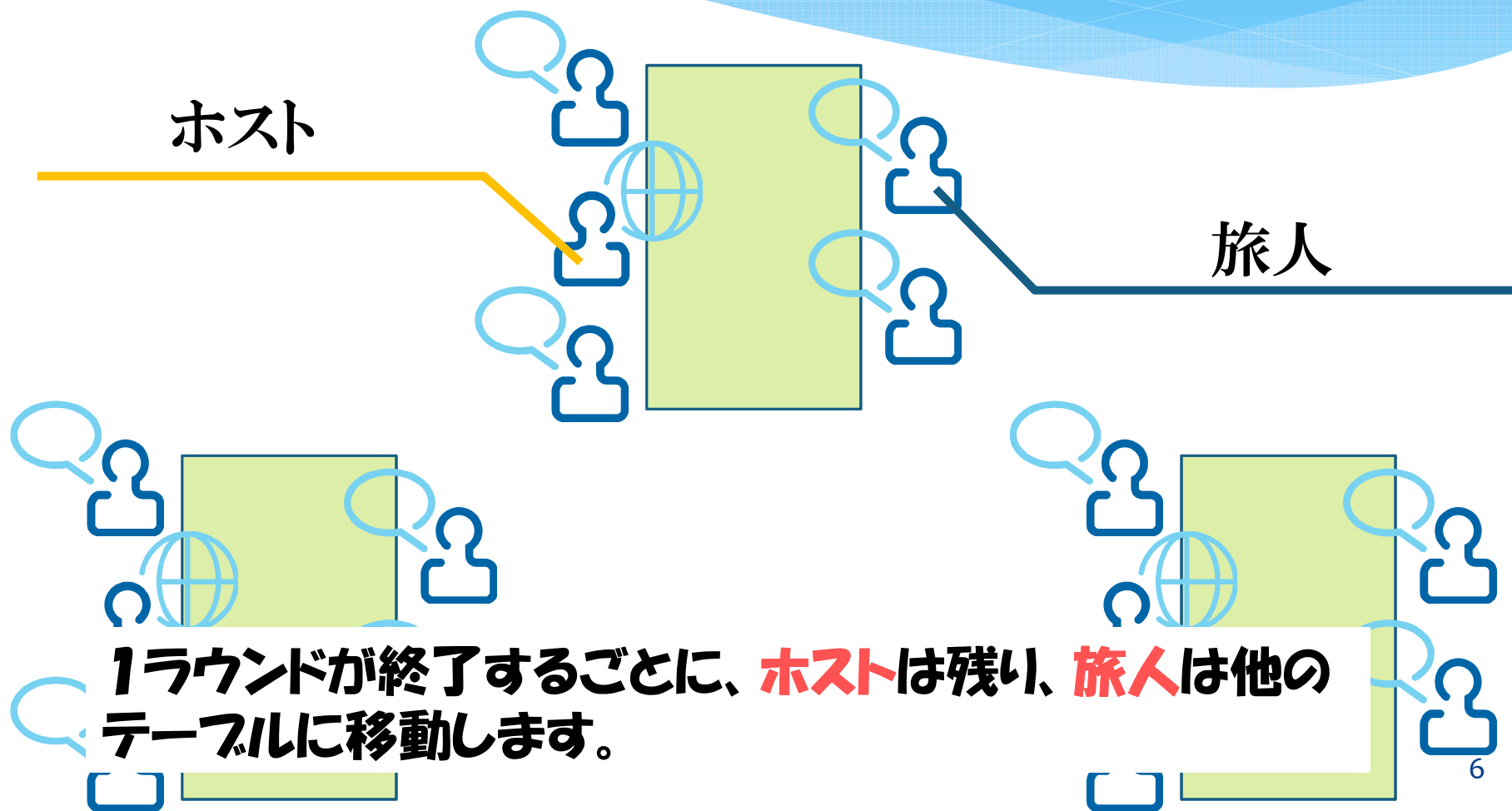
創造的なアイデアは、会議室の中ではなく、オープンに会話ができる**カフェ**のような場所でこそ生まれると言われていきます。



カフェでくつろいでいるような雰囲気の中、テーマに沿って**対話**を行いました。

実施方法 (ワールドカフェ方式)

メンバーを入れ替えながら、4~5人単位のグループで話し合うことで、まるで参加者全員と話し合っているような効果が生まれます。



こがねいまちづくりカフェの流れ

(全体のタイムテーブル)

- 13:00－ 開催の挨拶
- 13:10－ 趣旨・次第説明
- 13:20－ 小金井市の現状説明
- 13:38－ こがねいまちづくりカフェの進め方説明
(休憩)
- 14:00－ 自己紹介
- 14:10－ 話し合い(第1～第2ラウンド)
(休憩)
- 15:10－ 話し合い(第3ラウンド)
- 15:35－ 振り返りタイム・全体共有
- 15:55－ 閉会の挨拶

こがねいまちづくりカフェの流れ

(導入：市の現状説明)

対話に先立ち、長期計画審議会の委員から、次の4分野について、市の状況や施策の説明を行いました。

環境と都市基盤

地域と経済

小金井

文化と教育

福祉と健康

また、対話がスムーズに進められるよう、アイスブレイクとして市に関するクイズを出題しました。

こがねいまちづくりカフェの流れ(本編)

3ラウンド制で、1ラウンドが終わるごとに、ホスト役を一人残して席替えをしました。

第1ラウンド

1つ目のテーマについて話し合う

ホスト役1名を残して、席替え

第2ラウンド

2つ目のテーマについて話し合う

ホスト役1名を残して、席替え

第3ラウンド

3つ目のテーマについて話し合う

振り返り

第1~3ラウンドまでを振り返る

こがねいまちづくりカフェの様子①

くつろいだ雰囲気の中、3つのテーマについて、話し合いを行いました。

第1ラウンド

「こがねい」ってどんなまち？

第2ラウンド

「未来の小金井」をどんなまちにしたい？

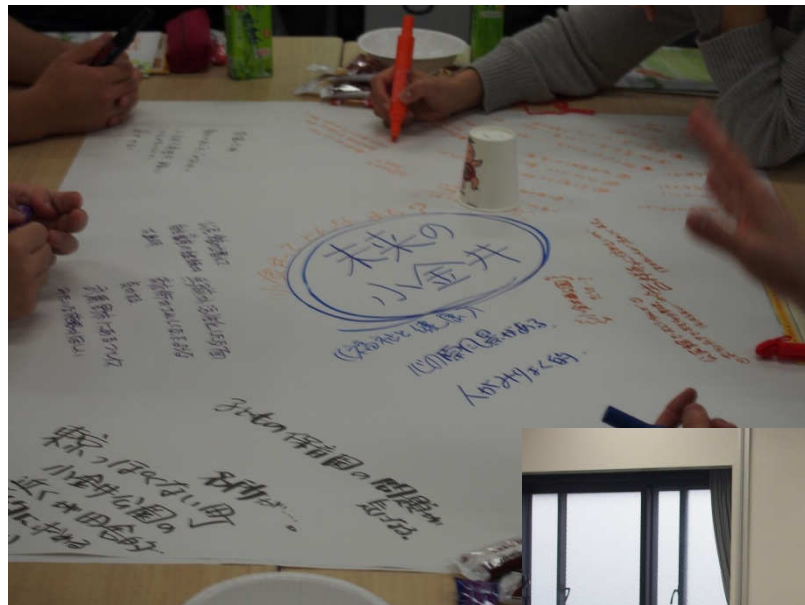
第3ラウンド

未来の小金井のために
私たちにできることはなにか？



こがねいまちづくりカフェの様子②

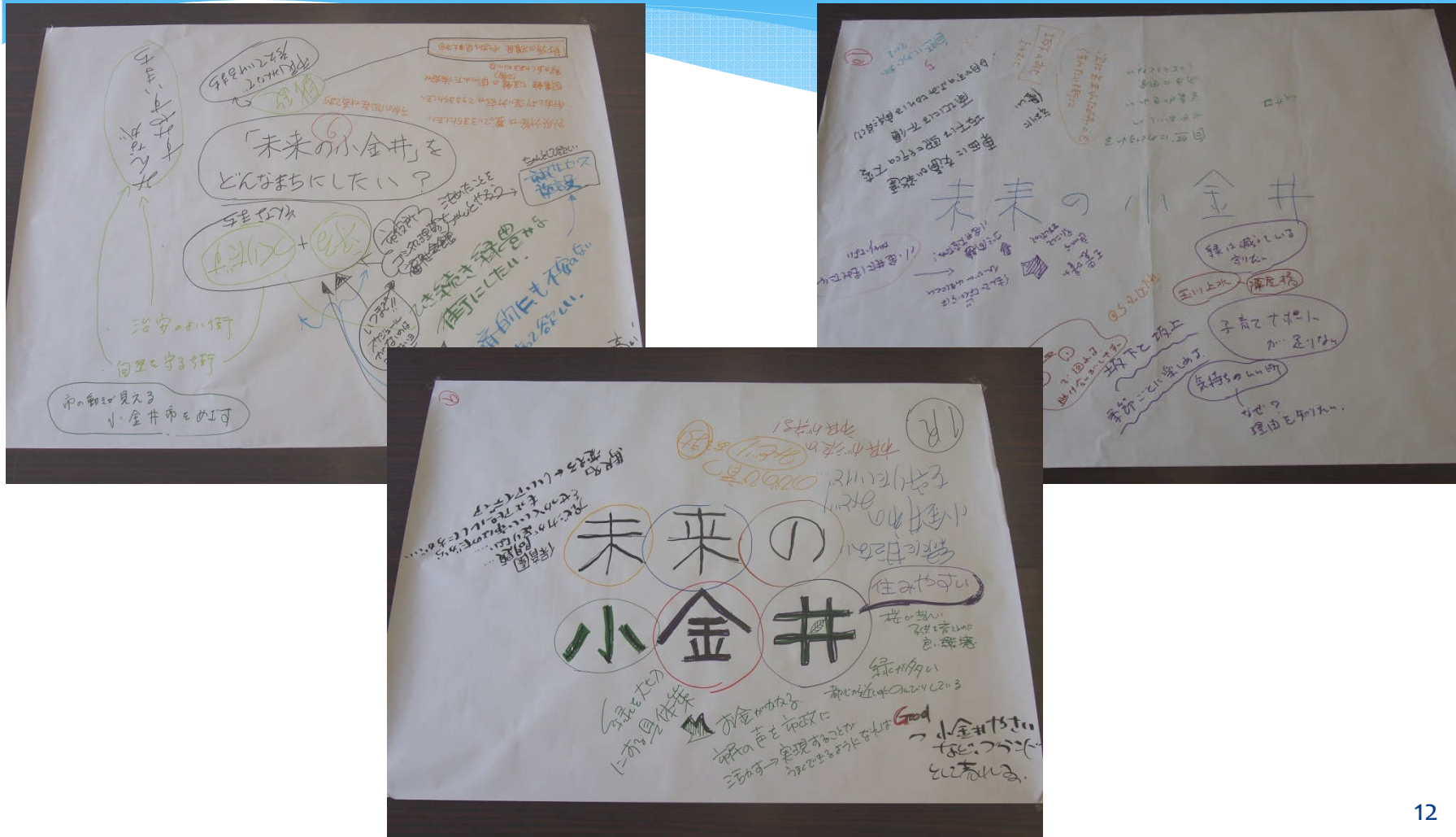
対話から出た意見やアイデアを模造紙に自由に書き込み、
第3ラウンドで出た対話内容を全体発表で共有しました。



こがねいまちづくりカフェの様子③

対話で使用した模造紙の紹介

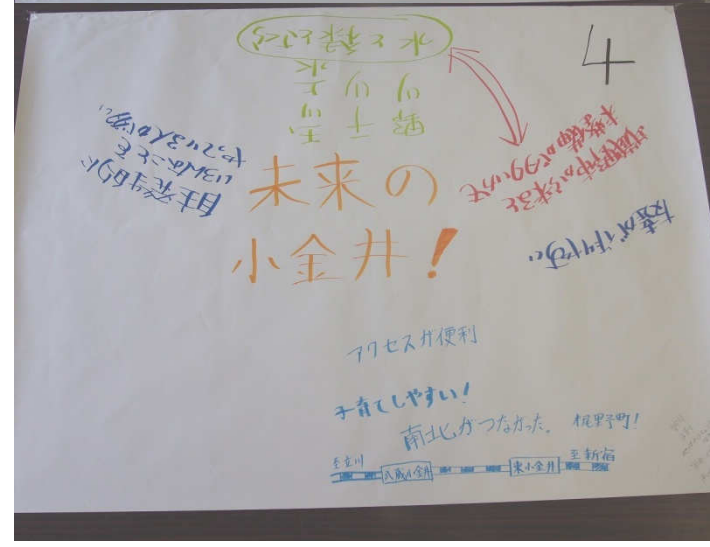
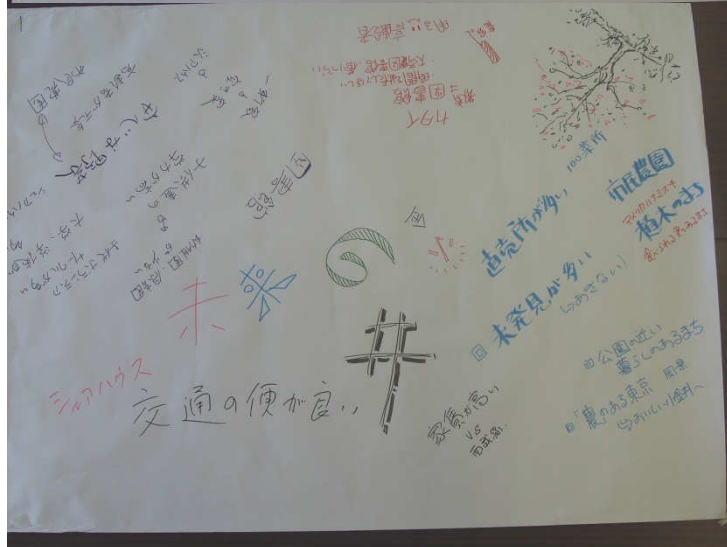
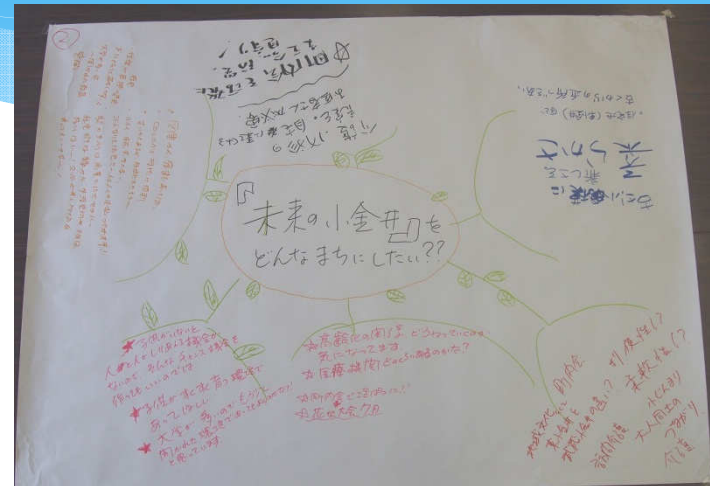
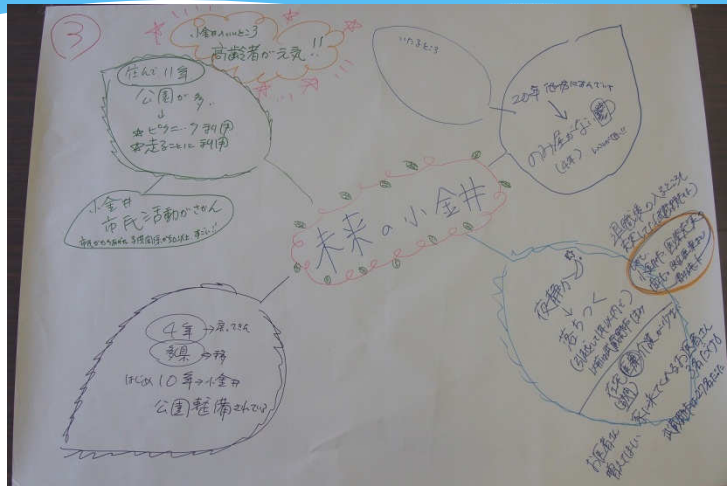
小金井市の未来について、会話に花が咲き、時間が足りなくなるほどでした。



こがねいまちづくりカフェの様子⑤

対話で使用した模造紙の紹介

小金井市の未来について、会話に花が咲き、時間が足りなくなるほどでした。



全体共有で出た主な意見①

未来の小金井のために私たちにできることはなにか？

- 小金井市の価値は「東京でありながら田舎らしさがある」ことではないか
- 小金井市の良いところを知らない市民が多い。良いところを市民が教えあい、まちを好きになること
- つながりのあるまちという点では弱くなりつつある。なんとかつながりを強くしていきたい
- 人と人がきちんと繋がっていれば、楽しい、充実した生活を送ることができるのではないか

全体共有で出た主な意見②

未来の小金井のために私たちにできることはなにか？

- 身近なことからはじめることが必要である
- どんな小さな活動でもよいから、人に声をかけることが自分たちにできることではないか
- 退職した方が市に貢献する、自分の周りに貢献するという意識をもち、常に学ぶ姿勢で、生涯学習に積極的に参加していくことが市民として必要である

全体共有で出た主な意見③

未来の小金井のために私たちにできることはなにか？

- まちづくりへの参加が楽しいことを実際に参加している人から伝えていくことが大事である
- 世代間がつながって取り組むことで、様々な課題が解決できるのではないか
- 市民が起業をして、小金井市の財源を確保できるようなまちづくりが、未来のために必要ではないか

全体共有で出た主な意見④

未来の小金井のために私たちにできることはなにか？

- 小金井は市民の意識が高いまち
- 既存の環境を守っていききたい。コミュニティを守っていききたい
- お金がかかるから難しいではなく、自分たちで簡単にできることをする
- よき市民 目指す心は 小金井市

施策に対する意見(分野別整理)①

審議会ではまちづくりカフェで話し合った内容はこれまでの議論に大枠、内包されていると総括されましたが、分野毎に協議した内容は以下のとおりです。

【環境と都市基盤】

■全体をひとことで表すと・・・

「つながり」

■新たなアイデア・視点

- * 小金井市は坂道が多く歩行が大変。バリアフリーの観点から坂道にエスカレーターやエレベーター等をつくれないうか。
- * 駅前の店舗は買い物に便利であるが、景観への配慮も必要。
- * 農園・農地は個人ものではあるが、これを保全し、他に新たな利用余地がないのかを模索しながら積極的に活用していくことはできないか。

施策に対する意見(分野別整理)②

【地域と経済】

■全体をひとことで表すと…

ちょいなかこがねい

「Cho田舎小金井」

■新たなアイデア・視点

今までの議論に含まれている。

施策に対する意見(分野別整理)③

【文化と教育】

■全体をひとことで表すと・・・

「スタートラインにたち、市民の声を聞くドアが開かれた」

■新たなアイデア・視点

- * 坂が多いのは景観上はメリット。景観文化の形成に取り組むべきではないか。
- * 起業文化も育てる土台作りを推進していく必要があるのではないか。
- * 坂の景観保全
- * 屋敷林の保全
- * 斎場(老後の安心)

施策に対する意見(分野別整理)④

【福祉と健康】

■全体をひとことで表すと・・・

「水・緑・空気がきれいで住みたい町」

■新たなアイデア・視点

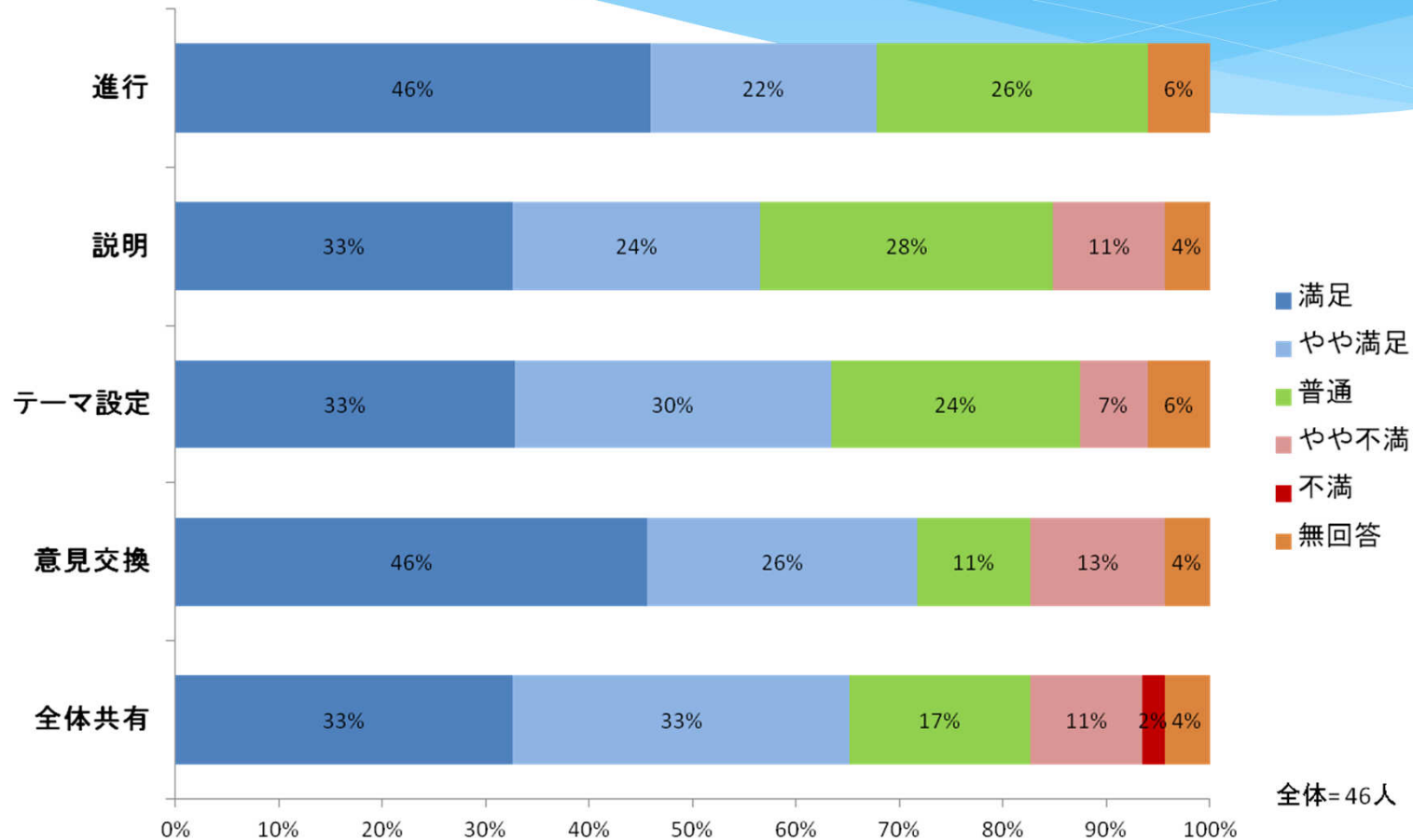
- * 高齢者はまちに貢献したいという思いはあるが、何をしよういかわからない。高齢者が活躍できる機会をつくるべきである。
- * 「絆づくり」「つながりあいたい気持ち」を形にする。
- * 葬儀ができるということが安心した市民生活につながる。

参加者の感想

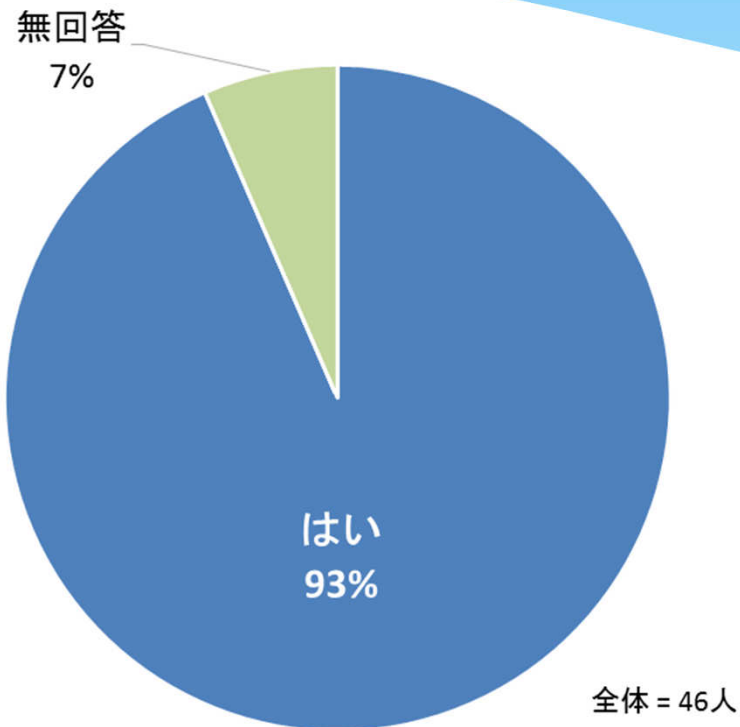
- * 普段話すことがない年代の方や職種の方たちと意見交換ができる貴重な場でした。
- * 地域活動に参加できない市民も、多くいるので、今回のように気軽に、参加できる機会があるとよい。
- * いろんな方が、いろんな思いや環境で、住んでいらっしゃるのがあらためてわかり、考えさせられた。
- * 小さな声を大きな声にしていけるように、行政とともに、常に考えていけるようなまちにしたい。
- * 転入して1年未満であるが、小金井市の市民は熱いと驚かされた。若い方から高齢者まで、すごい意欲に圧倒された。

アンケート結果①

参加して下さった方へのアンケート結果は、以下のとおりとなりました。
「満足」から「不満」までの5段階で伺いました。全体的に満足度は高く、特に意見交換パートの満足度が高かったことが伺えます。



アンケート結果②



「今後このような会があったら参加したいと思いますか」との質問に対しては、回答者全員が「はい」と答えました。

感想の中にも、再度の開催を希望するものが多くありました。

今後このような会があったら参加したいか？